

小学校 4年 社会科「水はどこから」

授業のねらい

児童が調べ学習を基に作成した新聞を共有・発表し、友達の新聞の良さや新しい気付きを得ることができる。

「ハイブリッド授業」での工夫 ※ICT活用の工夫

- Teams のビデオ会議機能を使って教室の様子を映し出し、欠席した児童に対しても、新聞の発表が伝わるようにするとともに、欠席した児童も自宅等から発表できるようにする。
- Teams のファイル共有機能を使って、発表者の新聞を欠席した児童も教室にいる児童も手元で見ることができるようにする。



↑【タブレット端末で共有している様子】

児童の様子

- 手書きで作成した新聞をタブレット端末で写真に撮り、Teams の共有ファイルへアップロードをして全員で共有した。
- 発表者の新聞ファイルを、児童それぞれのタブレット端末と電子黒板で掲示しながら、発表者の発表を聞いていた。
- 友達の発表を聞いたり、作成した新聞を見たりしながら、それぞれの新聞の良さや新しい気付きなど感想や質問を行った。



↑【全体で共有している様子】

成果

- 欠席した児童も教室にいるような感覚で授業に参加することができた。
- 児童一人一人が、タブレット端末でクラス全員の新聞を確認することができたため、友達の新聞の細かい内容についても、画面を拡大しながら理解することができた。



↑【友達の新聞を確認する様子】

課題

- 発表者は、カメラ・マイクの近くにいたため、欠席者役の児童にもよく聞き取れたが、質問や感想を話している時は、タブレットとの距離があり、聞き取りづらかった。教室の中での発言全てが聞き取れるわけではないため、カメラのそばに来るなどの工夫が必要である。